

防 災 編

第1章 災害の発生状況

1. 平成25年中の災害発生状況

(1) 人的被害

死者1人、重傷者2人、軽傷者4人

(2) 住家被害

全壊5棟、半壊5棟、一部破損88棟、床上浸水80棟、床下浸水356棟

第1表 平成25年中の災害発生状況

区分	発生年月日	災害名													計		
		1月~3月	4/6	4/13	7/7	7/13	7/29	8/23	8/24	8/31	9/3	9/4	9/16	10/15		11/25	12/15
人的被害者	死者	1															1
	行方不明者																0
	負傷者			1													2
住家被害	軽傷者	1									1			1			4
	全壊																5
	半壊										3					2	5
	一部破損			1	2						70					13	88
	床上浸水					1										78	80
非住家被害	床下浸水					9				2					320		356
	公共建物																0
その他	その他														19		19
	流失・埋没									8					25		34
	冠水														260		260
	流失・埋没														1		1
その他	冠水																0
	学校		1														1
	病院														1		1
	道路					1				2					145		220
	橋りょう														3		3
河川														150		150	

発生年月日 区分	災害名	大雪	暴風	地震	暴風	大雨	大雨	竜巻	大雨	大雨	大雨	大雨	暴風	台風26号	台風18号	台風15号	台風11号	計
		1月~3月	4/6	4/13	7/7	7/13	7/29	8/23	8/24	8/31	9/3	9/4	9/16	10/15	11/25	12/15		
その	港湾																	0
	砂防									2								4
	清掃施設																	0
	崖くずれ											9						9
	鉄道不通											3						3
	被害船舶							19										19
	水道														28			28
	電話							12										12
	電気							190					910	730				1,830
	ガス																	0
他	建物																	0
	危険物																	0
	その他																	0
	り災害世帯数							3							83			86
	り災害者数							5							285			290
	公立文教施設						526					1,629						2,255
	農林水産業施設						110,630	20,700	1,216			1,216,058						1,348,604
	公共土木施設						50,964	8,590				732,944						792,498
	その他の公共施設								134			955,369						955,622
	小計						162,120	29,290	134	1,216		2,906,000						3,088,979
公共施設被害市町村数						5	2	1			10						20	
その他被害											75,815	31					77,176	
被害総額						162,120	29,290	134	1,216		2,981,815	31					3,176,155	
都道府県設置																		
災害対策本部解散						1	1								6			8
災害対策本部設置市町村																		
災害救助法適用市町村																		
消防職員出勤延人数						63	28	63		5		267	7					436
消防団員出勤延人数						37	4	4				949						990

2 過去5年間の災害発生状況（平成21年～25年）

年月日	種類	被害状況	気象状況
2009 (平21) 6.22	大雨	(1) 人的被害 なし (2) 住家被害 床下浸水5棟 (3) 公共土木施設被害 596千円	22日には活発な梅雨前線の影響で嶺北を中心に激しい雨が降った。 (日最大1時間降水量(22日)) 春江43.5ミリ、三国28.0ミリ、 越廼26.5ミリ (日降水量(22日)) 春江122.0ミリ、三国117.5ミリ、 越廼114.5ミリ
2009 (平21) 8.2	大雨	(1) 人的被害 なし (2) 住家被害 床下浸水20棟	上空の寒気や湿った空気が流れ込んだ影響により、大気の状態が不安定となり、2日未明からまとまった雨となった。 (日最大1時間降水量(2日)) 福井56.5ミリ、大飯30.5ミリ (日降水量(2日)) 福井94.0ミリ、大飯63.5ミリ
2009 (平21) 10.7～ 10.8	台風 18号	(1) 人的被害 軽傷 2人 (2) 住家被害 一部損壊2棟 床下浸水1棟 (3) 非住家被害 その他1棟 (4) その他被害 16,326千円	7日には台風第18号が四国の南海上に進み、8日5時過ぎには知多半島付近に上陸し、その後、東海地方、関東甲信地方、東北地方を進み、同日夕方太平洋に達した。 7日～8日にかけての降水量は、おおい町名田庄納田で230ミリ、小浜市遠敷で126ミリを観測した。
2009 (平21) 12.17～ 3.31	大雪	(1) 人的被害 死者 1人 重傷 9人 軽傷 21人 (2) 住家被害 半壊1棟 一部損壊7棟 床上浸水1棟 床下浸水6棟 (3) 非住家被害 その他4棟	中旬後半から下旬にかけて強い寒気が日本付近に南下し冬型の気圧配置となった。このため、奥越を中心に大雪となった。 17日～20日にかけての降雪量の合計は嶺北の平野部では30～60センチ、大野市九頭竜では164センチとなった。最深積雪は20日に大野市九頭竜で143センチを観測した。
2010 (平22) 3.21	暴風	(1) 人的被害 なし (2) 住家被害 なし (3) 非住家被害 その他1棟	日本付近は冬型の気圧配置となり西よりの風が強まった。発達した低気圧から伸びる寒冷前線が県内を通過した影響で、県内全域で強風が吹いた。 (日最大風速) 勝山 14.3m/s(北西) 2時00分 (日最大瞬間風速) 勝山 24.6m/s(西北西) 1時53分
2010 (平22) 9.15～ 9.16	大雨	(1) 人的被害 なし (2) 住家被害 床下浸水16棟	日本海の低気圧と本州南岸の低気圧の影響で15日から16日にかけて大雨となった。福井市での15日正午から16日午後4時までの総雨量は125.5ミリに達した。 (日最大1時間降水量(16日)) 福井29.0ミリ (日降水量(16日)) 福井108.0ミリ

年月日	種類	被害状況	気象状況
2010 (平22) 11.29	暴風	(1) 人的被害 重傷 1人 (2) 住家被害 なし (3) 非住家被害 その他 3棟	上空に強い寒気が入り、大気の状態が不安定となった。 竜巻注意情報が発令され、局地的に突風が吹いた。 (日最大風速) 福井 6.1m/s(南南東)12時42分 越廼 7.4 m/s(西北西)14時31分 (日最大瞬間風速) 福井 8.2m/s(南南西)12時35分 越廼 12.7m/s(西北西)11時04分
2010 (平22) 12.3	暴風	(1) 人的被害 なし (2) 住家被害 一部損壊1棟 (3) 非住家被害 その他 2棟	前線を伴った低気圧が発達しながら通過し、大気の状態が不安定となった。 気圧の谷が西から通過したため、各地で突風が吹いた。 (日最大風速) 福井 13.4m/s(西南西)13時23分 小浜 11.6m/s(西)19時14分 (日最大瞬間風速) 福井 26.3m/s(西南西)13時16分 小浜 19.4m/s(西北西)19時08分
2010 (平22) 12.25 ～ 2011 (平23) 3.31	大雪	(1) 人的被害 死者 7人 重傷 22人 軽傷 32人 (2) 住家被害 全壊 2棟 半壊 2棟 一部破損 246棟 床上浸水 1棟 床下浸水 6棟 (3) 非住家被害 公共建物 1棟 その他 43棟 (4) 公共施設被害 33,303千円 (5) その他被害 2,097千円	北日本上空に寒気が流れ込み、強い冬型の気圧配置となった。 北陸地方と北日本の日本海側を中心に大雪や猛吹雪の恐れがあるとして、大雪、なだれ、路面凍結、突風、波浪などへの警戒が必要となった。
2011 (平23) 5.10	大雨	(1) 人的被害 なし (2) 住家被害 なし (3) 公共施設被害 25,181千円	日本海の低気圧が北日本を通過し、前線が本州付近をゆっくりと南下した。 (日最大1時間降水量(10日)) 福井14.5㍓、大野14.5㍓、敦賀28.0㍓ (日降水量(10日)) 福井 87.5 ㍓、大野 111.5 ㍓、敦賀 112.0 ㍓
2011 (平23) 5.29～30	台風 2号	(1) 人的被害 なし (2) 住家被害 床上浸水 13棟 床下浸水 55棟 (3) 非住家被害 公共建物 4棟 その他 2棟 (4) 公共施設被害 723,655千円 (5) その他被害 51,705千円	本州南岸に停滞した梅雨前線と台風第2号から変わった低気圧の影響により、嶺南を中心に大雨となり、土砂災害や浸水による被害が発生した。 (日最大1時間降水量(30日)) 小浜34.5㍓、大飯54.5㍓ (日降水量(30日)) 小浜 167.5 ㍓、大飯 218.5 ㍓

年月日	種類	被害状況	気象状況
2011 (平23) 7.7	大雨	(1) 人的被害 なし (2) 住家被害 床上浸水 1棟 床下浸水 11棟 (3) 公共施設被害 12,533千円	梅雨前線が北上。発達した雨雲は次第に東進、夜に北陸で激しい雨が降った。 (日最大1時間降水量(7日)) 福井20.5ミリ、勝山30.5ミリ (日降水量(7日)) 福井 80.5ミリ、勝山 149.5ミリ
2011 (平23) 8.19	大雨	(1) 人的被害 なし (2) 住家被害 床上浸水 2棟 床下浸水 57棟 (3) 非住家被害 その他 8棟 (4) 公共施設被害 14,793千円	前線がゆっくり南下。前線上の波動が東進、朝までは北陸西部で非常に激しい雨が降った。 (日最大1時間降水量(19日)) 福井44.5ミリ、勝山33.5ミリ (日降水量(19日)) 福井 84.5ミリ、勝山 57.0ミリ
2011 (平23) 9.3	台風 12号	(1) 人的被害 なし (2) 住家被害 なし (3) 非住家被害 公共建物 1棟 (4) 公共施設被害 198千円	台風第12号の影響により、大雨や強風となった。 (日最大1時間降水量(3日)) 小浜20.5ミリ (日降水量(3日)) 小浜 96.0ミリ
2011 (平23) 9.21	台風 15号	(1) 人的被害 なし (2) 住家被害 床下浸水 1棟 (3) 非住家被害 公共建物 3棟 (4) 公共施設被害 12,928千円	本州付近に停滞した秋雨前線と台風第15号の北上に伴い、嶺南や嶺北北部を中心に大雨となった。 (日最大1時間降水量(21日)) 福井19.0ミリ、小浜21.5ミリ (日降水量(21日)) 福井 94.5ミリ、小浜 122.5ミリ
2011 (平23) 12.25 ～ 2012 (平24) 3.31	大雪	(1) 人的被害 死者 4人 重傷 12人 軽傷 26人 (2) 住家被害 一部破損 26棟 床下浸水 2棟 (3) 非住家被害 その他 4棟 (4) その他被害 486千円	平成23年12月後半から平成24年2月初めにかけて、北日本から西日本にかけては低温となり、日本海側を中心に記録的な積雪となった。この期間、シベリア高気圧の勢力が強く、冬型の気圧配置が強まった。 (日降雪量最大) 福井 34センチ1月25日 敦賀 23センチ1月26日 (最深積雪最大値) 福井 61センチ2月4日 敦賀 58センチ2月3日 九頭竜 187センチ2月9日
2012 (平24) 4.3	暴風	(1) 人的被害 重傷 1人 軽傷 9人 (2) 住家被害 一部破損 23棟 (3) 非住家被害 公共建物 1棟 その他 3棟 (4) 公共施設被害 9,653千円	前線を伴った低気圧が、日本海を急速に発達しながら東北東に進んだ。この低気圧に吹き込む南寄りの風が強まり、県内では暴風となった。 (日最大風速) 三国 25.8m/s(南南東)13時22分 敦賀 24.0m/s(南南東)12時06分 (日最大瞬間風速) 三国 35.3m/s(南南東)13時36分 敦賀 37.5m/s(南南東)12時04分

年月日	種類	被害状況	気象状況
2012 (平24) 4.22	暴風	(1)その他被害 6,450千円	前線を伴った低気圧が日本海西部を東進したため、南よりの強風となった。 (日最大瞬間風速(22日)) 福井 25.3m/s(南南東)07時50分 敦賀 28.2m/s(南東)09時05分
2012 (平24) 6.19~20	台風 4号	(1)公共施設被害 11,605千円	台風第4号から湿った空気が入り、梅雨前線の活動が活発となったため雨となり、ところにより大雨となった。 (日最大風速(19日)) 敦賀 12.6m/s(南南東)13時12分 (日降水量(19日)) 小浜 72.5 ^{mm} 、敦賀 64.0 ^{mm}
2012 (平24) 7.20~21	大雨	(1)住家被害 半壊 2棟 一部破損 9棟 床上浸水 57棟 床下浸水 243棟 (2)非住家被害 その他 14棟 (3)公共施設被害 172,920千円 (4)その他被害 126,000千円 (5)災害対策本部設置市町村 越前市	日本の南の太平洋高気圧から、暖かく湿った空気が西日本から北陸地方に流れ込み、また、上空の寒気を伴った気圧の谷の影響で、嶺北を中心に大雨となった。 (日最大1時間降水量(20、21日)) 今立 96.0 ^{mm} 、あわら 95.0 ^{mm} (日降水量(20、21日)) 今立 189.0 ^{mm} 、あわら 182.0 ^{mm}
2012 (平24) 8.13~14	大雨	(1)公共施設被害 9,383千円	前線が日本海を南下し、沿岸に停滞したため、大雨となった。 (日最大1時間降水量(13日)) 小浜 47.0 ^{mm} (日降水量(13日)) 小浜 65.5 ^{mm} 、大野 55.0 ^{mm}
2012 (平24) 9.6	大雨	(1)住家被害 一部破損 1棟 床下浸水 139棟 (2)公共施設被害 5,652千円	前線が日本海を東に進み、前線に向かって南から暖かく湿った空気が流れ込み、大気の状態が不安定となった。 (日最大1時間降水量(6日)) 福井 62.5 ^{mm} 、今庄 61.0 ^{mm} (日降水量(6日)) 福井 133.5 ^{mm} 、春江 85.0 ^{mm}
2012 (平24) 12.6	暴風	(1)人的被害 重傷 1人 (2)公共施設被害 90,000千円	低気圧が発達しながら日本海を東に進んだため、暴風となった。 (日最大風速) 三国 12.8m/s(西南西)04時12分 越廼 13.6m/s(西)03時51分 (日最大瞬間風速) 三国 24.1m/s(西南西)04時22分 越廼 23.4m/s(西南西)04時47分
2013 (平25) 1.6 ~ 2013 (平25) 3.31	大雪	(1)人的被害 重傷 1人 軽傷 1人	天気は周期的に経過し、低気圧の通過後は冬型の気圧配置が続き雪や雨となりました。強い寒気の影響で1月の終わり頃には奥越を中心に大雪となりました。 (日降雪量最大) 福井 22センチ1月3日 敦賀 27センチ1月26日 (最深積雪最大値) 福井 30センチ1月28日 敦賀 41センチ1月26日 九頭竜 176センチ1月28日

年月日	種類	被害状況	気象状況
2013 (平25) 4.6	暴風	(1)住家被害 一部破損 1棟 (2)公共施設被害 219千円 (3)その他被害 1,330千円	日本海と日本の南岸をそれぞれ低気圧が急速に発達しながら北東に進みました。 (日最大風速) 敦賀 21.1m/s(南南東)16時44分 (日最大瞬間風速) 敦賀 32.2m/s(南南東)16時59分
2013 (平25) 4.13	地震	(1)人的被害 重傷 1人	淡路島付近を震源とする地震 4月13日05時33分 M6.3 深さ15km 北緯 34度25.1分 東経 134度49.7分 震度3 小浜市、高浜町、おおい町
2013 (平25) 7.7	暴風	(1)住家被害 一部破損 2棟	梅雨前線に向かって南から暖かく湿った空気が入り、大気の状態が不安定となり積乱雲が通過中であった。 (日最大風速) 福井 4.6m/s(南南東)21時46分 大野 6.4m/s(北)17時17分 (日最大瞬間風速) 福井 7.8m/s(西南西)16時46分 大野 15.9m/s(北西)17時11分
2013 (平25) 7.13	大雨	(1)住家被害 床上浸水 1棟 床下浸水 9棟	日本海から東北地方にのびる梅雨前線に、南から湿った空気が流れ込んだため、大気の状態が不安定となった。 (日最大1時間降水量(13日)) 福井 55.0mm (日降水量(13日)) 福井 69.0mm、勝山 82.0mm
2013 (平25) 7.29	大雨	(1)住家被害 床下浸水 2棟 (2)公共施設被害 162,120千円 (3)災害対策本部設置市町村 越前市	日本海から北陸地方にのびる梅雨前線に、湿った空気が流れ込んだため、大気の状態が不安定となった。 (日最大1時間降水量(29日)) 敦賀 27.5mm (日降水量(29日)) 福井 137.5mm、勝山 175.0mm
2013 (平25) 8.23	竜巻	(1)人的被害 軽傷 1人 (2)住家被害 半壊 3棟 一部破損 70棟 (3)公共施設被害 134千円	台風第15号から変わった温帯低気圧からのびる寒冷前線が県内を通過した。 (日最大風速) 敦賀 9.8m/s(北)19時10分 (日最大瞬間風速) 敦賀 13.3m/s(北)19時05分 小浜 17.5m/s(北北西)16時27分
2013 (平25) 8.24	大雨	(1)公共施設被害 29,290千円 (2)災害対策本部設置市町村 越前市	本州付近に停滞する前線の影響で、曇り時々雨となり、嶺北の一部では大雨となりました。 (日最大1時間降水量) 今庄 38.0mm (日降水量) 今庄 111.0mm

年月日	種類	被害状況	気象状況
2013 (平25) 8.31	大雨・ 暴風	(1)住家被害 一部破損 2棟 (2)公共施設被害 1,216千円	台風第15号から変わった温帯低気圧からの びる寒冷前線が県内を通過した。 (日最大風速) 福井 10.0m/s(西南西)17時22分 勝山 15.4m/s(北西)17時41分 (日最大瞬間風速) 福井 19.9m/s(西北西)17時15分 勝山 29.5m/s(北西)17時34分
2013 (平25) 9.3	大雨	(1)住家被害 床上浸水 1棟 床下浸水 25棟	北陸地方に前線が停滞していた。前線に向 かって南から暖かく湿った空気が入ったた め、前線の活動が断続的に活発になった。 (日最大1時間降水量) 福井 47.0㎜ (日降水量) 福井 87.0㎜
2013 (平25) 9.16	台風 18号	(1)人的被害 死者 1人 (2)住家被害 全壊 5棟 半壊 2棟 一部破損 13棟 床上浸水 78棟 床下浸水 320棟 (3)非住家被害 その他 19棟 (4)公共施設被害 2,906,000千円 (5)その他被害 75,815千円 (6)災害対策本部設置市町村 敦賀市、小浜市、越前市、 美浜町、おおい町、若狭町	台風第18号が日本の南海上を北上してい た。台風の北側に広がる雨雲域が県嶺南を中 心にとどまっていた。 05:05に大雨特別警報を発表した。 (日最大1時間降水量) 敦賀25.0㎜、小浜38.5㎜ (24時間降水量) 敦賀215.0㎜、小浜384.0㎜
2013 (平25) 10.15	台風 26号	(1)その他被害 31千円	台風第26号が本州の南海上を北上したた め、雨で大雨となったところがありました。 (日最大風速) 三国 9.2m/s(北東)22時15分 (日最大瞬間風速) 三国 15.7m/s(北東)22時31分 (日最大1時間降水量) 九頭竜 16.5㎜ (日降水量) 九頭竜 60.0㎜
2013 (平25) 11.25	暴風	(1)人的被害 軽傷 1人	低気圧が発達しながら日本海中部を北東に 進み、低気圧の中心からのびる寒冷前線が 25 日夕方頃通過した。 (日最大風速) 福井 16.1m/s(南南東)11時57分 三国 18.7m/s(南南東)08時59分 (日最大瞬間風速) 福井 23.9m/s(南東)11時53分 敦賀 28.2m/s(南南東)07時47分

年月日	種類	被害状況	気象状況
2013 (平25) 12.15	大雪	(I) 人的被害 軽傷 1人	上旬の終わりころから短い周期で低気圧が通過し、その後冬型の気圧配置となったため、雪や雨の日が多くなりました。
～			(日降雪量最大) 福井 8センチ 12月29日 敦賀 15センチ 12月28日 九頭竜 35センチ 12月12日
2013 (平25) 12.31			(最深積雪最大値) 福井 9センチ 12月29日 敦賀 21センチ 12月29日 九頭竜 71センチ 12月30日

第2章 平成25年の天候概況

1 天候の特徴

冬は低温と大雪、夏から秋はかなり高温

◇ 年（1月～12月）の概況

1月下旬から2月中旬には、冬型の気圧配置や寒気の影響で気温が低く大雪の日がありました。3月と5月は高気圧に覆われ晴れた日が多く、4月中旬から5月上旬は寒気の影響で気温は低くなりました。7月は梅雨前線の活動が活発となり大雨の日がありました。梅雨明け（8月7日ごろ）後から11月上旬にかけて高気圧の勢力が強く、気温が高くなりました。9月中旬は台風第18号の影響で大雨となりました。11月から12月は度々寒気が入り冬型の気圧配置が強まったため、気温は低く雨や曇りの日が多くありました。

官署	平均気温			降水量			日照時間		
	本年 (℃)	平年差 (℃)	階級区分	本年 (mm)	平年比 (%)	階級区分	本年 (h)	平年比 (%)	階級区分
福井	14.9	+0.4	高い	2725.5	122	かなり多い	1739.9	107	多い
敦賀	15.6	+0.3	平年並	2611.0	122	かなり多い	1726.7	111	かなり多い

※平年値は、1981年～2010年の30年平均値です。

◇ 台風

発生数は31個（平年値25.6個）となり、上陸数は2個（平年値2.7個）、接近数は2個（平年値2.5個）となりました。

【台風発生数・上陸数】

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計	平年値
発生	1	1				4	3	6	7	7	2		31	25.6
上陸									2				2	2.7
北陸地方に 接近した台風									1	1			2	2.5

※台風の中心が新潟県、富山県、石川県、福井県のいずれかの気象官署から300km以内に入った場合を「北陸地方に接近した台風」としています。

◇ 台風第18号

9月13日3時に小笠原の近海で発生した台風第18号は、日本の南海上を北西に進みながら15日夕方には四国の南海上に達しました。その後、台風は進路を北東に変え、近畿地方や東海地方を暴風域に巻き込みながら東海道沖を北東に進み、16日8時前に愛知県豊橋市付近に上陸しました。

この台風は上陸後も勢力を維持したまま北上し、暴風域を伴って関東甲信地方を北東に進んだ後、

東北地方南部を経て16日18時には三陸沖に達しました。この台風の接近・通過に伴い広い範囲で大雨となり、各地で浸水による被害や土砂災害など発生しました。特に、福井県では、平成25年8月30日から開始した大雨特別警報を16日05時05分に発表しました。

24時間雨量の日最大値は福井県小浜市小浜で384.0ミリ（16日12時40分までの24時間）の雨が降り、9月の月平均降水量平年値の約2倍近くの雨を観測するなど福井県では各地で記録を更新しました。

2 月別気象概況

◇ 2013年（平成25年）月別気象概況

1月

天気は数日の周期で変わり、低気圧の通過後は冬型の気圧配置が続き雪や雨となりました。

月平均気温は、全ての地点で平年より低くなりました。月降水量は、大飯で平年より多いほかは、平年並か平年より少なくなりました。月間日照時間は、平年並か平年より多くなりました。

2月

数日の周期で低気圧が通過し、低気圧の通過後は冬型の気圧配置となり、中旬から下旬の中ごろにかけて曇りや雨、雪の日が多くなりました。

月平均気温は、平年並か平年より低くなりました。月降水量は、美浜で平年より多いほかは、平年並か平年より少なくなりました。月間日照時間は、福井、越廼で平年並のほかは、平年より少なくなりました。

3月

天気は短い周期で変わりました。移動性高気圧に覆われることが多かったため、月降水量はかなり少なく、月間日照時間は多くなりました。また、南からの暖かい空気の影響をたびたび受けたため、月平均気温はかなり高くなりました。

月平均気温は、すべての地点で平年よりかなり高くなりました。月降水量は、越廼、九頭竜で平年より少ないほかは、平年よりかなり少なくなりました。月間日照時間は、福井、敦賀で平年よりかなり多いほかは、平年より多くなりました。

4月

日本付近を低気圧と高気圧が交互に通過したため、天気は数日の周期で変わりました。

月平均気温は、全ての地点で平年より低くなりました。月降水量は、美山、今庄で平年よりかなり多くなったほかは、平年並か平年より多くなりました。月間日照時間は、福井、三国、越廼で平年より少なくなったほかは、平年並となりました。

5月

低気圧や気圧の谷の影響で雨となった日もありましたが、高気圧に覆われ晴れた日が多くなりました。

月平均気温は、上旬が平年よりかなり低かったため、勝山、今庄で平年より低く、そのほかは平

年並となりました。月降水量は、全ての地点で平年よりかなり少なくなり、越廼、今庄、美浜、大飯、小浜では、5月としての「月降水量の少ない方から」の第1位を記録しました。月間日照時間は、全ての地点で平年よりかなり多くなり、三国、越廼、勝山、大野、今庄、美浜、小浜では、5月としての「月間日照時間の多い方から」の第1位を記録しました。

6月

前半は高気圧に覆われ、晴れの日が多くなりました。18日から19日と26日は、梅雨前線や低気圧の影響で大雨となりました。

月平均気温は、平年より高いか、平年よりかなり高くなりました。月降水量は、平年並か、平年より少なくなりました。月間日照時間は、福井、勝山、大野で平年よりかなり多くなったほかは、平年より多くなりました。

7月

天気は周期的に変わりました。太平洋高気圧に覆われ晴れた日もありましたが、低気圧や暖かく湿った空気の影響で雷雨や大雨となったところがあり、29日から30日は梅雨前線が北陸地方に停滞したため、広範囲で大雨となりました。

月平均気温は、勝山で平年並のほかは、平年より高いか、かなり高くなりました。月降水量は、越廼、美浜、小浜、大飯で平年並のほかは、平年より多いか、かなり多くなりました。月間日照時間は、大野、美浜で平年より多いほかは、平年並となりました。

8月

はじめと終わりは上空の気圧の谷や湿った空気の影響で、曇りや雨となりましたが、中ごろを中心に太平洋高気圧に覆われ、晴れて気温の高い日が続きました。

月平均気温は、大野、今庄で平年並のほかは、平年より高くなりました。月降水量は、小浜、大飯で平年並のほかは、平年より多いか、平年よりかなり多くなりました。月間日照時間は、勝山、大野、美浜で平年より多く、そのほかは平年並となりました。

9月

はじめ秋雨前線や暖かく湿った空気の影響で曇りや雨となりました。15日から16日は台風第18号の接近で嶺南を中心に記録的な大雨となり、本年8月30日より運用開始となった特別警報を福井県全域に発表しました。そのほかの日は高気圧に覆われ概ね晴れました。

月平均気温は、すべての地点で平年並となりました。月降水量は、美山、勝山、大野、九頭竜で平年より多く、そのほかは平年よりかなり多くなりました。月間日照時間は、三国で平年より多く、そのほかは平年よりかなり多くなりました。

10月

上旬は概ね晴れましたが、その後は天気は周期的に変わりました。25日は、台風第27号から湿った空気が入り、本州の南岸に停滞した前線の活動が活発となったため、大雨となりました。

月平均気温は、すべての地点で平年よりかなり高くなりました。月降水量は、平年より多いか、

平年よりかなり多くなりました。月間日照時間は、勝山、敦賀、美浜、小浜で平年よりかなり少なく、そのほかも平年より少なくなりました。

11月

上旬は移動性高気圧に覆われ晴れた日が多く気温が高くなりましたが、その後は冬型の気圧配置や寒気の影響で曇りや雨の日が多くなり、下旬には山沿いで雪となった日もありました。

月平均気温は、すべての地点で平年より低くなりました。月降水量は、福井、越廼で平年よりかなり多いほかは、平年並か平年より多くなりました。月間日照時間は、嶺北では平年並か平年より少なく、嶺南では平年より多いか平年よりかなり多くなりました。

12月

上旬の終わりころから短い周期で低気圧が通過し、その後冬型の気圧配置となったため、雪や雨の日が多くなりました。

平均気温は、すべての地点で平年より低くなりました。降水量は、美浜で平年よりかなり多く、今庄、大飯で平年並、そのほかは平年より多くなりました。日照時間は、美浜、小浜で平年並、そのほかは平年より少ないか平年よりかなり少なくなりました。

第3章 防災訓練の実施状況

I 総合防災訓練

平成25年度福井県総合防災訓練を次のとおり実施した。

1 目的

災害対策基本法および福井県地域防災計画に基づき、防災関係機関が協力して迅速・的確に応急対策が実施できるよう訓練会場の特色を活かした実践的な防災訓練を実施する。また、併せて住民の防災に対する意識の高揚を図る。

今年度は鯖江市および越前町の2箇所にて主会場をおき、地震や津波、水害といった大規模複合災害に対応できる広域的な防災体制の確立を図る。

2 日時

平成25年8月25日(日) 8時30分～12時00分

3 場所

- (1) 主会場 鯖江中学校および日野川河川敷(鯖江市小黒町)
越前漁港厨地区(越前町厨)
- (2) 津波避難訓練 越前町沿岸部、南越前町沿岸部
- (3) 住民避難訓練 鯖江市吉川地区および鯖江地区

4 主催 福井県、鯖江市、越前町、南越前町

5 訓練参加機関(順不同)

(1) 国の行政機関

中部管区警察局福井県情報通信部、敦賀海上保安部、東京管区気象台福井地方気象台、近畿地方整備局福井河川国道事務所

(2) 自衛隊

自衛隊福井地方協力本部、陸上自衛隊第14普通科連隊、陸上自衛隊第10飛行隊、陸上自衛隊第372施設中隊、海上自衛隊舞鶴地方総監部、海上自衛隊第23航空隊、航空自衛隊第6航空団、航空自衛隊小松救難隊

(3) 応援県、市関係

滋賀県、石川県加賀市、滋賀県長浜市、愛知県知立市、岐阜県大垣市、静岡県袋井市、愛知県西尾市

(4) 警察関係

福井県警察本部、鯖江警察署、越前警察署、石川県警察本部

(5) 消防関係

福井県消防長会、鯖江・丹生消防組合消防本部、福井市消防局、大野市消防本部、勝山市消防本部、永平寺町消防本部、嶺北消防組合消防本部、南越消防組合消防本部、

若狭消防組合消防本部、敦賀美方消防組合消防本部、鯖江消防団、越前消防団、南越前町消防団、越前町厨女性消防隊

(6) 医療関係

(一社) 福井県医師会、(一社) 鯖江市医師会、日本赤十字社福井県支部、福井赤十字病院、福井県赤十字血液センター、福井県赤十字救護奉仕団、福井県無線赤十字奉仕団、赤十字飛行隊福井支隊、鯖江市赤十字奉仕団、越前町赤十字奉仕団、福井県立病院、福井県済生会病院、福井大学医学部附属病院、公立丹南病院、福井総合病院

(7) 交通運輸関係

(一社) 福井県トラック協会、日本通運(株) 福井支店、(一社) 日本自動車連盟、西日本旅客鉄道(株) 金沢支社福井地域鉄道部、中日本高速道路(株) 金沢支社、(公社) 福井県バス協会

(8) ライフライン関係

西日本電信電話(株) 福井支店、(株) NTT西日本北陸福井支店、(株) NTTネオメイト北陸支店、(株) NTTドコモ北陸支社、ドコモエンジニアリング北陸(株)、KDDI(株)、ソフトバンクモバイル(株)、北陸電力(株) 福井支店、北陸電力(株) 丹南支社、(一財) 北陸電気保安協会福井支店、鯖江管工事業協同組合、鯖江建設業会、越前地区建設業会、(一社) 福井県LPガス協会、福井県高圧ガス地域防災協議会、(一社) 日本コミュニティーガス協会近畿支部福井県防災会、関西電力(株) 原子力事業本部、日本原子力発電(株)、(独) 日本原子力研究開発機構

(9) 各種団体・学校・企業

日本郵便(株) 北陸支社、北陸地方非常通信協議会、福井県災害ボランティアセンター連絡会、鯖江市災害ボランティアセンター連絡会、越前町災害ボランティアセンター連絡会、NPO法人日本災害救援飛行協会、NPO法人災害救助犬ネットワーク、NPO法人防災ネットワークみらい、越前町漁業協同組合、鯖江市防犯隊、鯖江市交通指導員、越前町交通指導委員会、社会福祉法人光道園、鯖江中学校、防災関連企業(9社)

(10) 地元地区関係(鯖江市住民、越前町住民、南越前町住民)

(11) 福井県

(12) 鯖江市、越前町、南越前町

6 訓練種目

交通対策訓練、福井県広域消防相互応援協定に基づく集結訓練、被害状況調査・通信訓練、住民避難訓練、交通整理・避難誘導訓練、ソーシャル防災訓練、福祉避難所への要援護者移送訓練、津波避難訓練、現地災害対策本部設置・運営訓練、応急搬送訓練、架橋訓練、軽装甲機動車による状況確認・情報伝達訓練、応急救護所設置・運営訓練、炊き出し訓練、土砂災害救出救助訓練、避難所開設・運営訓練、災害ボランティアセンター設置・運営訓練、座屈建物救出・火災防御訓練、水難救助訓練、水防訓練、浸水車両救出救助訓練、応急生活物資供給訓練、LPガス漏洩復旧訓練、水道管復旧訓練、電力施設復旧訓練、血液の緊急輸送訓練、医薬品の緊急輸送訓練、漁船避難訓練、オフロードバイクによる状況確認・情報伝達訓練、初期消火訓練、孤立住民との通信訓練、瓦礫撤去・捜索・救出救助訓練、孤立住民の救出救助訓練、行方不明者捜索救助訓練、応急生活物資受入訓練、津波に

よる要救助者救出訓練、通信訓練、災害対策本部設置・運営訓練、緊急時職員参集訓練、隣接地区待機要請・救護班派遣訓練、情報伝達訓練、各種体験・展示

7 災害想定

福井県丹南地方を震源とする地震と福井県沖を震源とする地震が相次いで発生し、鯖江市で震度6強、嶺北一帯で震度5強以上を観測した。鯖江市では、家屋の倒壊や火災の発生、ライフライン被害が多数発生するとともに、集中豪雨による日野川の水位の上昇と地震による堤防の決壊が重なり、住宅地等が浸水した。

さらに、越前町では、高さ最大5.5mの津波が襲来し、沿岸地域が浸水するとともに、倒木や瓦礫等により道路が不通となった。

II 原子力防災総合訓練

平成25年度原子力防災総合訓練を、次のとおり実施した。

1 目 的

災害対策基本法および原子力災害対策特別措置法に基づき、国、県、関係市町、防災関係機関および地域住民が一体となった原子力防災訓練を実施し、緊急時における通信連絡体制と住民避難体制の確立、緊急時医療活動等の災害対策の習熟と、防災関係機関相互の協力体制の強化を図るとともに、住民の原子力防災に対する理解の促進を図ることを目的とする。

2 主 催 福井県、美浜町、敦賀市

3 実 施 日 平成25年6月16日(日)

4 訓練対象発電所 関西電力(株) 美浜発電所3号機

5 参加・協力機関(順不同)

(1) 国の関係機関等

ア 指定行政機関

原子力規制委員会、原子力規制庁地域原子力規制統括管理官事務所(若狭地域担当)、美浜原子力規制事務所、敦賀原子力規制事務所、大飯原子力規制事務所、高浜原子力規制事務所、原子力規制庁地方放射線モニタリング対策官事務所、総務省消防庁

イ 指定地方行政機関等

近畿地方環境事務所、経済産業省近畿経済産業局、中部管区警察局福井県情報通信部、文部科学省敦賀原子力事務所、厚生労働省福井労働局、国土交通省近畿地方整備局福井河川国道事務所、同北陸地方整備局敦賀港湾事務所、同中部運輸局福井運輸支局、気象庁福井地方气象台、海上保安庁第八管区海上保安本部、同美保航空基地、敦賀海上保安部、福井海上保安署、小浜海上保安署、(独)原子力安全基盤機構、(公財)原子力安全技術センター、原子力緊急時支援・研修センター

(2) 自衛隊関係

陸上自衛隊第10師団司令部、陸上自衛隊第14普通科連隊、陸上自衛隊第10後方支援連隊、陸上自衛隊第10戦車大隊、陸上自衛隊第10飛行隊、陸上自衛隊第10特殊武器防護隊、陸上自衛隊第372施設中隊、海上自衛隊舞鶴地方総監部、海上自衛隊第23航空隊、航空自衛隊中部航空方面隊司令部、航空自衛隊第6航空団、航空自衛隊小松救難隊、自衛隊福井地方協力本部

(3) 自治体関係

石川県、岐阜県、滋賀県、京都府、茨城県、福井県内各市町

(4) 警察関係

福井県警察本部、敦賀警察署

(5) 消防関係

敦賀美方消防組合消防本部、若狭消防組合消防本部、福井市消防局、永平寺町消防本部、福井県内各消防本部、敦賀美方消防組合美浜消防団、敦賀美方消防組合敦賀消防団

(6) 医療機関関係

(社) 福井県医師会、日本赤十字社福井県支部、(公社) 福井県診療放射線技師会、福井県立病院、福井大学医学部附属病院、市立敦賀病院、国立病院機構福井病院、杉田玄白記念公立小浜病院、社会保険高浜病院、レイクヒルズ美方病院、公立丹南病院、福井社会保険病院、福井赤十字病院、福井県済生会病院、国立病院機構あわら病院、広島大学

(7) 報道機関

日本放送協会福井放送局、福井放送(株)、福井テレビジョン放送(株)、福井エフエム放送(株)、美方ケーブルネットワーク(株)、(株)嶺南ケーブルネットワーク、敦賀FM放送(株)、その他報道機関

(8) ライフライン関係

西日本電信電話(株)福井支店、(株)NTTドコモ北陸支社

(9) 交通運輸関係

(公社) 福井県バス協会、中日本高速道路(株)金沢支社、西日本高速道路(株)関西支社、その他バス事業者

(10) 漁業関係

福井県無線漁業協同組合、福井県漁業協同組合連合会、敦賀市漁業協同組合、美浜町漁業協同組合、若狭三方漁業協同組合、大島漁業協同組合、若狭高浜漁業協同組合、河野村漁業協同組合、小浜市漁業協同組合、雄島漁業協同組合、三国港漁業協同組合、三国港機船底曳網漁業協同組合、福井市漁業協同組合、越廼漁業協同組合、越前町漁業協同組合

(11) 原子力事業者関係

関西電力(株)、日本原子力発電(株)、(独) 日本原子力研究開発機構、関電プラント(株)、原電情報システム(株)、原電事業(株)

(12) 各種団体等

北陸地方非常通信協議会 他

(13) 主催者

福井県、美浜町、敦賀市

6 訓練想定

平成25年6月16日、若狭湾沖で地震が発生し、関西電力(株)美浜発電所3号機において、全交流電源喪失および原子炉冷却機能の喪失により、全面緊急事態に至ったという想定で、各種の応急活動を実施する。

7 訓練項目

(1) 緊急時通信連絡訓練

- ア 地震による地上系通信回線の不通のため、発電所から衛星電話による事故状況の通報連絡
- イ 県から県内全市町、消防機関へ事故状況の通報連絡
- ウ 自衛隊、海上保安庁、警察、消防と県間で衛星回線による通信連絡
- エ 事故発生から応急処理、復旧までの通信伝達、收受等
- オ 北陸地方非常通信協議会等による情報伝達
- カ 衛星車載局および携帯型映像伝送装置を利用した画像伝送
- キ ヘリコプターテレビ電送システム（ヘリテレ）を利用した画像伝送

(2) 災害対策本部等運営訓練

- ア 福井県総合防災センターにおける災害対策本部等の運営および福井県美浜原子力防災センターにおける県現地災害対策本部等の運営
- イ 関係市町における災害対策本部等の運営および福井県美浜原子力防災センターにおける関係市町現地災害対策本部等の運営
- ウ 災害対策本部と現地災害対策本部との対策会議等の実施

(3) 原子力防災センター運営訓練

- ア 福井県美浜原子力防災センターへの要員派遣
- イ 国災害対策本部等との対策会議の実施
- ウ 原子力災害合同対策協議会への参画
- エ 各機能班への参画
- オ 現地災害対策本部等と各機能班との連携
- カ 福井県敦賀原子力防災センターにおける後方支援の実施
- キ スクリーニング、除染・検査支援

(4) 自衛隊災害派遣運用訓練

- ア 福井県美浜原子力防災センターへの連絡要員の派遣
- イ 知事による災害派遣要請
- ウ 住民の避難援助
- エ 避難者等の捜索
- オ 空中モニタリング支援
- カ 海上モニタリング支援

(5) 緊急時モニタリング訓練

- ア 緊急時モニタリングセンターの設置・運営
- イ 可搬型モニタリングポストの設置
- ウ 待機施設の設置・運営および後方支援
- エ 原子力事業者間の相互応援による職員派遣および資機材の提供

- オ 環境放射線の連続監視
- カ モニタリング要員被ばく管理および資機材等の汚染管理
- キ モニタリングカーによる移動サーベイ
- ク 船舶による海上モニタリング
- ケ ヘリコプターによる空中モニタリング
- コ 移動型放射能測定車による環境試料測定
- サ 大気試料の採取・簡易測定・搬送および仮設機器の設置・運用・撤収
- シ オフサイトセンター機能班(放射線班)との連携

(6) 緊急被ばく医療措置訓練

- ア 緊急時医療本部等の運営
- イ 二州健康福祉センターにおける後方支援の実施
- ウ 医療資機材の搬送および点検
- エ 安定ヨウ素剤搬送および調剤
- オ スクリーニング
- カ 除染・検査、救急医療、救急搬送 [救急車、ヘリコプター]
- キ 市立敦賀病院(初期被ばく医療機関)、県立病院緊急時医療対策施設(二次被ばく医療機関)、福井大学医学部附属病院(二次被ばく医療支援機関)への搬送
- ク 県立病院緊急時医療対策施設(二次被ばく医療機関)から専門医の現地派遣
- ケ 広島大学(三次被ばく医療機関)との連携
- コ 避難所における心とからだの健康相談窓口の設置
- サ 地域住民等に対する講習会の実施

(7) 住民避難・退避訓練

- ア 「原子力発電所近接5km圏の住民避難計画」による緊急事態の区分に応じた措置
- イ 施設敷地緊急事態発生時の5km圏災害時要援護者の避難
- ウ 全面緊急事態発生時の5km圏住民の避難
- エ 住民の自家用車による避難および誘導
- オ 避難車両中継所における車両の乗継
- カ 消防団による自家用車避難済み住民の確認
- キ 自衛隊車両、民間バス等による住民等の陸路からの避難
- ク 自衛隊、海上保安庁のヘリコプターによる住民等の空路からの避難
- ケ 海上保安庁巡視船、自衛隊艦艇、漁船等による住民等の海路からの避難
- コ 自衛隊車両、福祉車両による災害時要援護者の避難
- サ SPEEDIを使用した避難先、避難経路の決定

(8) 避難所等運営訓練

- ア 被災地住民の登録
- イ 避難住民への事故状況説明の実施
- ウ 避難所・救護所の設置運営
- エ 福祉避難所での災害時要援護者の受入れ

- エ 飲料水・飲食物の供給
- オ 災害用伝言ダイヤルの活用
- カ 避難所への原子力防災センター内画像等の伝送

(9) 広報訓練

- ア 報道機関への報道要請
- イ ケーブルテレビ、屋外拡声器、緊急情報メール、広報車、船舶等による地域住民等への広報

(10) 交通対策等措置訓練

- ア 交通規制措置（陸上・海上）
- イ 立入制限措置
- ウ 一時滞在者に関する情報収集および交通制限

(11) 避難地域に対する関係機関の対応訓練

- ア 県警察本部ヘリコプターによる美浜発電所周辺地域の上空調査
- イ 陸上自衛隊の軽装甲機動車等による避難地域の偵察活動
- ウ 県警察本部のオフロードバイクによる避難地域の情報収集活動
- エ 海上保安庁巡視船および県警察本部警備艇による美浜発電所周辺の海上警備

(12) 発電所の事故対応・復旧訓練

- ア 緊急安全対策（空冷式非常用発電装置による電源確保等）による原子炉の冷却機能の回復訓練
- イ 緊急時対策室での発電所災害対策本部の立ち上げ訓練
- ウ 衛星電話による国、県、市町への事故状況の通報訓練
- エ 現地支援拠点、原子力緊急事態支援センターの支援体制の確立訓練
- オ 事故制圧のために出入りする車両、人員のスクリーニングポイント設置訓練

Ⅲ 過去5年間の総合防災訓練等の実施状況

種別	年度	21	22	23	24	25
総合防災訓練	日時	平成21年10月18日(日)	平成22年8月29日(日)	平成23年8月28日(日)	平成24年11月9日(金) ～11月10日(土)	平成25年8月25日(日)
	場所	テクノポート福井 福井空港、福井県庁 他	春日野工業団地 奥越ふれあい公園 他	麻生野土砂採取場跡地 若狭町小川地区沖 鳥羽小学校 他	テクノポート福井、福井空港	鯖江中学校、越前漁港周辺地区、 鯖江市内、越前町沿岸部、南越前町沿岸部
	主催	近畿2府7県、各府県消防長会、 福井市、坂井市、あわら市、永平寺町 他	福井県、大野市、勝山市	福井県、若狭町	福井県、福井市、坂井市	福井県、鯖江市、越前町、南越前町
	参加機関	200	77	80	150	105
	訓練種目	40	35	36	66	53
	想定	地震による災害	大雨と地震による災害	地震と津波による災害	地震と津波による災害	地震と津波および集中豪雨による災害
	参加人員	3,600	1,600	5,400	2,500	3,900
	日時					
	場所					
	主催	近畿府県合同防災訓練 (上記)の中で実施				
参加機関						
訓練種目						
想定						
参加人員						
石油コンビナート等 原子力(総合訓練) 防災訓練	日時	平成21年11月22日(日)	平成22年10月26日(火)	平成24年3月18日(日)		平成25年6月16日(日)
	訓練対象施設	関西電力(株) 美浜発電所3号機	関西電力(株) 大飯発電所4号機	日本原子力発電(株) 敦賀発電所2号機		関西電力(株) 美浜発電所3号機
	主催	福井県、美浜町、敦賀市	福井県、おおい町、小浜市、高浜町	福井県、敦賀市、美浜町、南越前町		福井県、美浜町、敦賀市
	参加機関	120	120	120	未開催	120
	訓練種目	11	11	12		12
	想定	放射性物質放出 周辺環境に影響を及ぼすおそれ	放射性物質放出 周辺環境に影響を及ぼすおそれ	放射性物質放出のおそれ		全交流電源喪失および原子炉冷却機能の喪失により、全面緊急事態に至る
	参加人員	1,500	1,500	3,500		2,500

IV 市町別自主防災組織の結成状況

平成26年4月1日現在

	管内世帯数 (A)	自主防災組織 の組織数	隊員数	組織されている 地域の世帯数 (B)	組織率 (カバー率) (B/A)
福 井 市	95,833	1,141	75,200	94,480	98.6%
敦 賀 市	27,769	84	2,670	22,620	81.5%
小 浜 市	11,693	95	987	6,952	59.5%
大 野 市	11,539	166	6,200	10,734	93.0%
勝 山 市	7,949	112	1,521	7,142	89.8%
鯖 江 市	22,095	151	7,103	21,863	98.9%
あ わ ら 市	9,860	88	2,583	7,733	78.4%
越 前 市	27,194	256	9,520	26,766	98.4%
坂 井 市	29,649	187	3,221	21,861	73.7%
永 平 寺 町	6,033	90	5,617	5,551	92.0%
池 田 町	1,027	21	154	1,026	99.9%
南 越 前 町	3,492	65	831	2,962	84.8%
越 前 町	7,243	53	913	5,345	73.8%
美 浜 町	3,722	19	2,895	2,378	63.9%
高 浜 町	4,176	13	156	795	19.0%
お お い 町	3,185	18	1,525	1,387	43.5%
若 狭 町	5,021	82	1,478	4,698	93.6%
合計・ 平均	277,480	2,641	122,574	244,293	88.0%

※管内世帯数は、住民基本台帳人口に基づく人口、世帯数調べ（平成26年3月末現在）

第4章 平成25年度防災行政無線利用状況

概 況

昭和56年度から運用を開始した防災行政無線は、平成7年度から9年度に、デジタル多重無線回線や衛星回線による2ルート化を整備するとともに、衛星車載局の導入により、災害現場からの映像による情報伝達が可能となるなど通信体制を強化した。平成18、19年度には、60MHzから260MHzへの周波数移行を行い、衛星回線、多重無線回線、260MHzデジタル通信回線、260MHzヘリ用通信回線等で構成されるようになった。また、通常時においても、電話、FAX、水防テレメータ等にも活用されている。しかし、大部分の設備は、導入から15年が経過し老朽化が進むとともに部品の生産中止により修繕が困難な状況となっているため、平成25年度から27年度までの計画で再整備に着手している。

今後とも、災害時において防災行政無線を利用した情報収集・伝達が迅速に行えるよう、定期的に通信訓練を行うとともに、計画的な設備の更新を行っていく。また、全局を対象に機器の保守点検を実施するとともに、各局の防災行政無線担当者や防災関係機関等との連携を強化していく。

1 無線局の現況

防災行政無線局等一覧 (平成26年4月1日現在)

〔固定系〕

区 分	現局数		現 設 置 場 所
	地上系	衛星系	
統 制 局	1	1	県庁
中 継 局	7		越知山 (越前町大谷寺) 久須夜ヶ岳 (小浜市堅海) 村国山 (越前市村国) 陣ヶ岡 (坂井市三国町陣ヶ岡) ハツ杉 (越前市別印) 岳山 (美浜町早瀬) 青葉山 (高浜町中山)
支 部 局	8		8土木事務所 (福井、三国、大野、勝山、武生、朝日、敦賀、小浜)
合 庁 局	3		3合同庁舎 (福井、丹生、坂井)
ダ ム 管 等 局	11		原子力センター (敦賀市吉河) 龍ヶ鼻ダム管 (坂井市丸岡町上竹田) 龍ヶ鼻ダム下流事務所 (坂井市丸岡町長畝) 永平寺ダム (永平寺町志比) 笹生川ダム管 (大野市中野) 笹生川堰堤 (大野市本戸) 広野ダム管 (南越前町今庄) 広野堰堤 (南越前町広野) 榎谷ダム (南越前町宇津尾) 浄土寺川ダム (勝山市村岡町浄土寺) 大津呂ダム (おおい町本郷)
小 計	30	1	
端 末 局	県出先機関	16	16：健康福祉センター (福井、坂井、奥越、丹南、三州、若狭) 武生福祉保健部、県立病院、越前漁港、福井港湾 敦賀港湾、福井空港、環境センター、防災航空事務所 坂井上水、日野川上水
	市 町	31	9市：福井、敦賀、小浜、大野、勝山、鯖江、あわら、越前、坂井 8町：永平寺、池田、南越前、越前、美浜、高浜、おおい、若狭 9旧町：美山、清水、今立、丸岡、三国、永平寺、今庄、越前、上中 5旧村：越廼、和泉、上志比、河野、名田庄
	消防本部	9	9消防本部 (福井、嶺北、永平寺、大野、勝山、鯖江丹生、南越、敦賀美方、若狭)
	国・公共機関等	15	15：福井气象台、鯖江自衛隊、舞鶴自衛隊、敦賀海保、福井海保 日赤福井、福井県医師会、福井火力、福井石油備蓄、原電敦賀 関電美浜・高浜・大飯、ふげん、もんじゅ
	小 計		71
衛 星 車 載		1	
可 搬 型 地 球 局		1	
合 計	30	74	

[移動系]

区 分		局 数	設 置 場 所	
陸 上 基 地 局	全 県 移 動 260MHzデジタル	11	県庁統制局 中継局 (越知山、久須夜ヶ岳、陣ヶ岡、村国山、岳山、青葉山、八ツ杉) 土木事務所 (勝山、敦賀) 笹生川ダム管	
	第二全県移動	8	県 庁 中 継 局 (越知山、久須夜ヶ岳、村国山) 土木事務所 (三国、勝山、大野、敦賀)	
	FWA (18GHz)	1	土木事務所 (三国)	
	400MHz 防災相互	1	防災航空事務所	
	計	21		
携帯基地局 (ヘリ用) 260MHzデジタル		5	中継局 (越知山、久須夜ヶ岳) 土木事務所 (三国、大野、敦賀)	
航 空 局		6	防災航空事務所 (可搬用含む)	
陸 上 移 動 局	全 県 移 動 局 260MHzデジタル	車載型	47	県庁 3台 土木事務所 42台 (福井6台、三国6台、大野4台、勝山3台、武生7台、朝日6台、敦賀4台、小浜6台) 防災航空事務所、衛星車載局
		半固定型	39	県出先機関8台: 健康福祉センター (福井、坂井、奥越、丹南、二州、若狭) 県立病院、防災航空事務所
				市9台: 福井、敦賀、小浜、大野、勝山、鯖江、あわら、越前、坂井
				町8台: 永平寺、池田、南越前、越前、美浜、高浜、おおい、若狭
				消防本部9台: 福井、嶺北、永平寺、大野、勝山、鯖江丹生、南越、敦賀美方、若狭 防災関係機関5台: 福井駅、NHK福井、福井放送、福井テレビ、FM福井
		携帯型	70	県庁 30台、敦賀土木 20台、小浜土木 20台
	携帯型 (他機関)	43	原子力センター 3台、地域医療課 40台	
	小 計	199		
	第二全県移動局	車載型	17	県庁 14台、奥越合同庁舎、若狭合同庁舎、衛星車載局
		可搬型	5	県庁 5台
		小 計	22	
	FWA (18GHz)	1	陣ヶ岡中継局	
	消 防 移 動 局	車載型	1	防災航空事務所
		携帯型	11	県庁 2台、防災航空事務所 9台
		小 計	12	
防 災 移 動 局	車載型	1	防災航空事務所、400MHz 防災相互	
	携帯型	5		
	小 計	6		
計	240			
携 帯 局 (ヘリ用)	防災用	1	防災ヘリコプター	
	消防用	1	"	
	小 計	2		
航 空 機 局	航行運航用	1		
簡 易 無 線 局		2	簡易画像伝送装置	
合 計		277		

2 利用状況

(1) 一般通話の利用状況

平成25年中

区 分	一年間の総計	一月当たりの平均使用回数	一局当たりの月平均使用回数
支 部 局	174,007	14,500	(8局) 1,812
合庁・ダム管等局	95,261	7,938	(17局) 466
県出先機関	6,010	500	(15局) 33
市 町	911	75	(30局) 2.5
消 防 本 部	340	28	(9局) 3.1
国出先機関	31	2.5	(5局) 0.5
公 共 機 関	96	8.0	(9局) 0.8
原子力発電所	57	4.7	(6局) 0.7
合 計	276,713	23,059	(99局) 232

(2) 一斉指令の利用状況

[指令内容別]

平成25年中

区 分	気 象 関 係				事務連絡	テスト	合 計
	警 報	注意報	情 報	計			
指令回数	327	1,603	738	2,668	397	149	3,214
前年比(%)	126	96	116	104	95	92	102

[指令種類別]

平成25年中

区 分	全 県	県出先	市 町	消 防	その他	合 計
指令回数	2,794	139	298	288	10	3,529
前年比(%)	107	120	88	97	33	104

(3)一斉指令月別通信回数

平成25年中

区分	月												計
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
気警報	36	4	0	10	0	18	76	34	65	30	18	36	327
象注意報	139	154	148	158	106	76	143	168	114	90	179	128	1603
関係情報	83	71	94	46	10	24	98	65	60	28	57	102	738
内容小計	258	229	242	214	116	118	317	267	239	148	254	266	2668
事務連絡	29	20	27	49	56	26	38	26	65	26	23	12	397
テラスト	2	5	12	13	11	23	8	23	8	25	9	10	149
計	289	254	281	276	183	167	363	316	312	199	286	288	3214
全県	276	234	262	211	148	122	296	297	275	157	253	263	2794
県出先	5	4	10	13	14	18	13	13	12	19	11	7	139
市町	7	13	8	49	18	27	51	43	27	17	20	18	298
消防	7	14	6	51	19	19	50	45	24	18	17	18	288
その他	1	2	0	0	0	0	3	4	0	0	0	0	10
計	296	267	286	324	199	186	413	402	338	211	301	306	3529

備考)市町と消防へ一括して一斉指令した場合は、市町と消防の種類別において、それぞれ回数を計上

3 多重局通信回数集計表

平成25年中

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
福井支部	2,523	2,572	2,427	3,204	3,291	2,824	2,743	2,388	2,582	2,843	2,381	2,486	32,264
三国支部	1,468	1,623	1,838	1,811	1,735	1,556	1,625	1,576	1,519	1,529	1,406	1,377	19,063
大野支部	1,490	1,483	1,879	2,134	1,928	1,719	1,729	1,513	1,579	1,987	1,637	1,451	20,529
勝山支部	295	392	420	326	257	323	433	308	297	339	371	302	4,063
武生支部	2,178	2,322	2,811	3,245	2,919	2,542	2,536	2,183	2,369	2,766	2,227	2,077	30,175
朝日支部	1,354	1,153	1,454	1,859	1,548	1,297	1,485	1,419	1,390	1,569	1,305	1,207	17,040
敦賀支部	1,211	1,370	1,573	1,689	1,744	1,549	1,639	1,486	2,061	2,370	1,712	1,603	20,007
小浜支部	1,868	1,981	2,410	2,988	2,788	2,484	2,450	2,287	3,379	3,381	2,447	2,403	30,866
福井合庁	3,893	3,869	4,995	5,644	5,384	4,670	4,621	3,967	4,213	5,124	4,453	4,299	55,132
坂井合庁	1,069	1,113	1,285	1,467	1,431	1,210	1,300	1,087	1,068	1,415	1,268	1,097	14,810
奥越合庁	227	329	390	287	347	364	294	202	227	272	284	204	3,427
南越合庁	903	911	942	940	1,048	912	1,031	800	841	926	891	896	11,041
敦賀合庁	54	50	93	46	77	63	75	52	59	55	48	42	714
若狭合庁	0	0	0	9	1	0	1	1	3	2	8	6	31
丹生合庁	353	357	421	539	613	523	561	418	462	472	477	397	5,593
原子力センター	95	149	126	116	178	194	127	114	110	147	131	115	1,602
笹生川ダム	93	84	110	136	142	103	85	91	75	68	80	74	1,141
広野ダム	0	0	1	1	0	0	0	2	0	0	0	0	4
広野堰堤	3	9	5	2	2	3	2	1	2	2	2	3	36
龍ヶ鼻ダム	21	34	74	37	24	35	27	15	35	23	21	16	362
榑谷ダム	7	7	6	12	8	17	25	11	8	18	3	16	138
浄土寺川ダム	3	1	0	15	16	8	14	8	11	13	20	2	111
永平寺ダム	12	1	11	2	0	3	1	0	1	0	1	0	42
大津呂ダム管	84	108	87	102	80	95	55	51	92	76	48	64	942
笹生川堰堤	0	0	3	12	18	12	12	22	17	11	23	5	135
計	19,204	19,918	23,361	26,623	25,579	22,506	22,871	20,002	22,410	25,408	21,244	20,142	269,268

4 端末局無線通信回数調

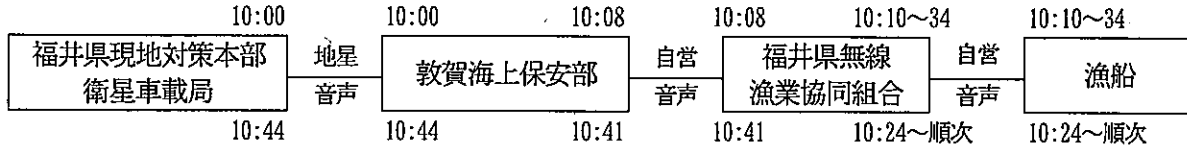
平成25年中

無 線 局	通信回数	無 線 局	通信回数	無 線 局	通信回数
福 井 市	47	衛 生 環 境	2,448	福 井 気 象 台	4
福 井 市 美 山	14	福 井 保 健	180	鯖 江 自 衛 隊	6
福 井 市 清 水	10	坂 井 保 健	130	舞 鶴 自 衛 隊	7
福 井 市 越 廼	9	大 野 保 健	212	敦 賀 海 保	9
敦 賀 市	49	鯖 江 保 健	192	福 井 海 保	5
小 浜 市	47	武 生 保 健	23	国 出 先 計	31
大 野 市	50	二 州 保 健	186	福 井 駅	12
大 野 市 和 泉	11	若 狭 保 健	90	N H K	12
勝 山 市	43	県 立 病 院	315	福 井 テ レ ビ	11
鯖 江 市	37	越 前 漁 港	13	福 井 放 送	11
あ わ ら 市	66	福 井 港 湾	708	F M 福 井	13
越 前 市	40	敦 賀 港 湾	1,401	日 赤 福 井	3
越 前 市 今 立	26	福 井 空 港	42	福 井 県 医 師 会	4
坂 井 市	42	坂 井 上 水	17	福 井 火 力	8
坂 井 市 三 国	22	防 災 航 空 事 務 所	53	福 井 備 蓄	22
坂 井 市 丸 岡	11	県 出 先 計	6,010	公 共 機 関 計	96
市 計	524	福 井 消 防	15	原 電 敦 賀	8
永 平 寺 町	23	大 野 消 防	29	関 電 美 浜	17
永 平 寺 町 上 志 比	6	勝 山 消 防	25	関 電 高 浜	6
池 田 町	33	永 平 寺 消 防	26	関 電 大 飯	8
南 越 前 町	50	嶺 北 消 防	44	原 子 力 機 構 ふ げ ん	7
南 越 前 町 今 庄	16	鯖 江 丹 生 消 防	70	原 子 力 機 構 も ん じ ゅ	11
南 越 前 町 河 野	12	南 越 消 防	38	原 子 力 発 電 所 計	57
越 前 町	28	敦 賀 美 方 消 防	27		
越 前 町 越 前	10	若 狭 消 防	66		
美 浜 町	64	消 防 計	340		
高 浜 町	31				
お お い 町	30				
お お い 町 名 田 庄	17				
若 狭 町	58				
若 狭 町 上 中	9				
町 計	387				
市 町 計	911			合 計	7,445

5 非常無線通信実施状況

(1) 平成25年度 福井県原子力防災総合訓練に伴う非常通信訓練 (平成25年6月16日)

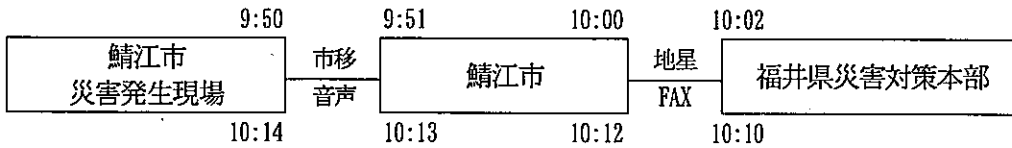
・福井県現地対策本部から漁船へ往復信



所要時間 往信 10分 復信 20分

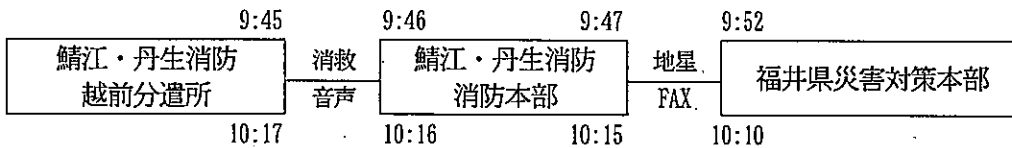
(2) 平成25年度 福井県総合防災訓練に伴う非常通信訓練 (平成25年8月25日)

・鯖江市災害発生現場から福井県現地対策本部へ往復信



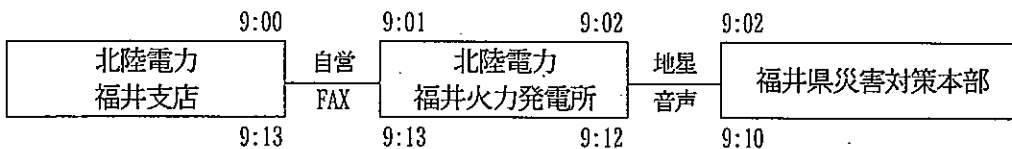
所要時間 往信 12分 復信 4分

・越前分遣所から福井県現地対策本部へ往復信



所要時間 往信 7分 復信 7分

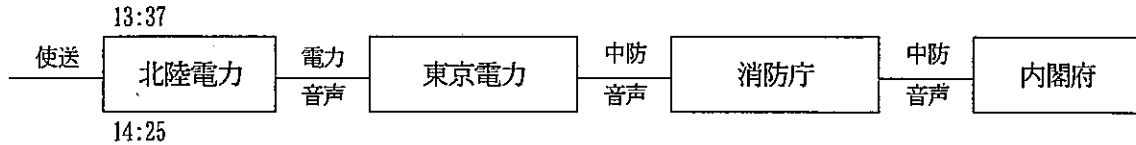
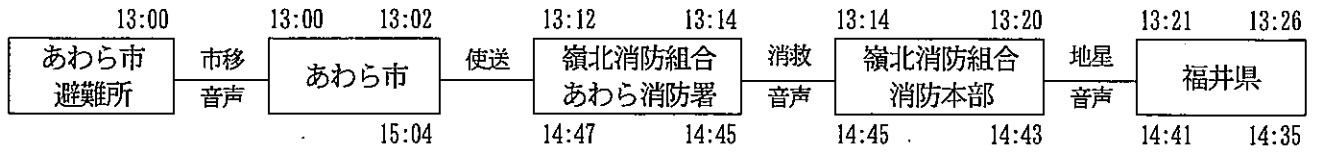
・北陸電力福井支店から福井県現地対策本部へ往復信



所要時間 往信 2分 復信 3分

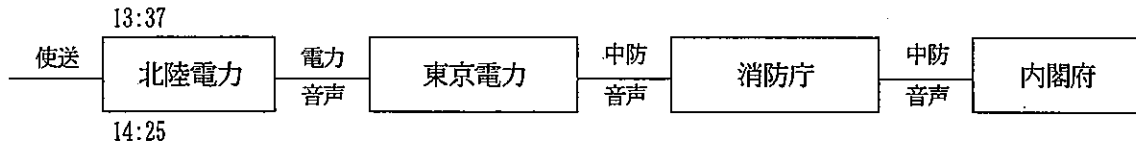
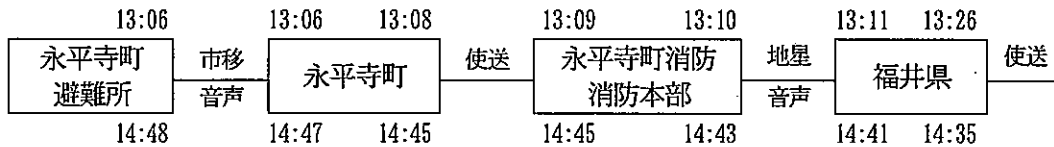
(3) 平成25年度 第76回全国非常通信訓練 (平成25年11月27日)

- ・避難場所等 (あわら市避難所) から福井県あて、福井県から内閣府へ往復信



所要時間 往復信 2時間04分

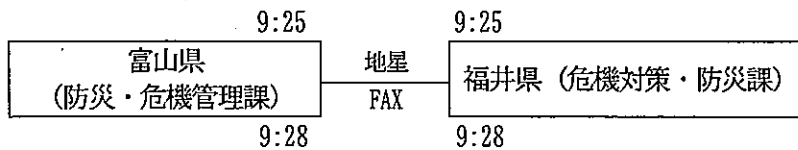
- ・避難場所等 (永平寺町避難所) から福井県あて、福井県から内閣府へ往復信



所要時間 往復信 1時間42分

(4) 平成25年度 富山県総合防災訓練に伴う非常通信訓練 (平成25年8月25日)

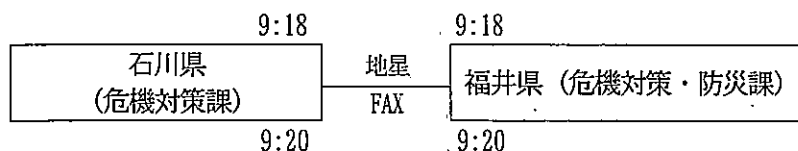
- ・富山県から福井県あて往復信



所要時間 往復信 3分

(5) 平成25年度 石川県防災総合訓練に伴う非常通信訓練 (平成25年11月2日)

- ・石川県から福井県あて往復信



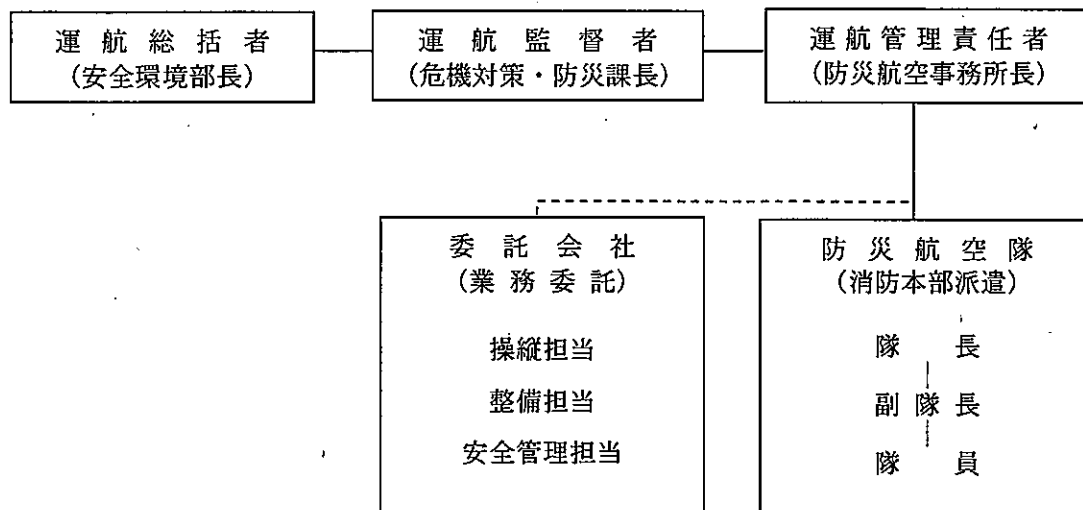
所要時間 往復信 2分

第5章 防災ヘリコプターの運航体制

1 運航基地

福井県防災航空事務所（福井空港内）

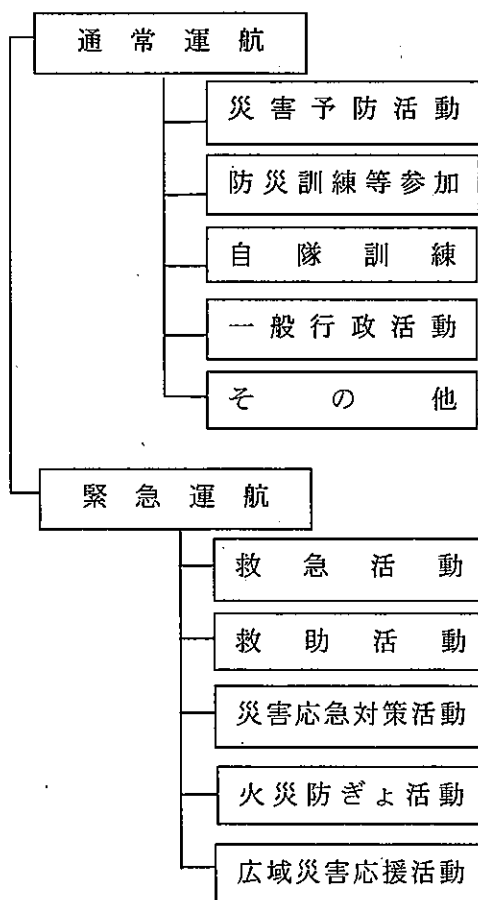
2 組織図



3 運航時間

毎日、午前8時30分から午後5時15分まで
 (ただし、緊急運航の場合は日の出から日没まで)

4 活動業務



Blue Arrow 主要性能

機種	川崎BK117C-1
メーカー（製造国）	川崎重工業（日本）
エンジン最大出力	1,384SHP
エンジン基数	2基
搭乗人員	11人
最大全備重量	3,350kg
最大搭載可能重量	1,586kg
航続距離（機外タンク使用）	740km
担架搬入装置	4基
ホイスト装置	270kg
貨物吊り下げ装置	1,300kg
全長	13.00m
全高	3.85m
最大速度	278km/h
航続時間	3.3h
着陸方式	スキッド方式

第1表 福井県防災ヘリコプター運航実績表（年度別）

平成26年3月31日現在

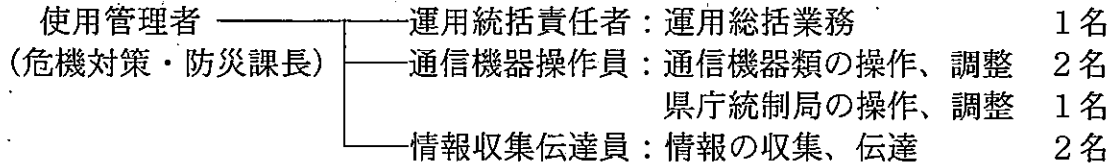
区分	緊急運航						通常運航						合計	
	救急	救助	災害応急	火災防抑	広域災害応援	計	自隊訓練	防災訓練参加	危険箇所調査	災害予防活動	一般行政	整備		その他
平成14年度	18 件数	21 時間	3 時間	1 時間	4 時間	47 時間	91 時間	57 時間	10 時間	5 時間	25 時間	4 時間	4 時間	243 時間
平成15年度	25 件数	29 時間	4:55 時間	0:10 時間	2:15 時間	52:56 時間	110:01 時間	48:39 時間	11:50 時間	8:55 時間	26:29 時間	1:30 時間	9:02 時間	269:22 時間
平成16年度	32 件数	32 時間	5 時間	0:35 時間	9 時間	83 時間	91 時間	44 時間	7 時間	2 時間	19 時間	3 時間	5 時間	295 時間
平成17年度	36 件数	27 時間	13:00 時間	5:27 時間	19:22 時間	98:05 時間	109:25 時間	38:15 時間	9:23 時間	6:12 時間	10:05 時間	10:20 時間	2:02 時間	283:47 時間
平成18年度	35 件数	26 時間	4 時間	4:09 時間	8 時間	75 時間	98 時間	38 時間	6 時間	11 時間	13:07 時間	7:40 時間	2 時間	235 時間
平成19年度	36 件数	37 時間	3:26 時間	8:27 時間	1:08 時間	66 時間	107 時間	60 時間	3 時間	3 時間	16 時間	6 時間	3 時間	261:02 時間
平成20年度	34 件数	27 時間	40:29 時間	7:30 時間	2 時間	78 時間	148:44 時間	58:03 時間	11:15 時間	7:32 時間	18:04 時間	12 時間	6 時間	317:08 時間
平成21年度	21 件数	28 時間	23:32 時間	1:01 時間	15 時間	67 時間	82 時間	45 時間	3 時間	4 時間	3:17 時間	10:03 時間	4 時間	215 時間
平成22年度	22 件数	26 時間	19:26 時間	3:19 時間	15 時間	63 時間	128 時間	40 時間	4 時間	3 時間	4:57 時間	7:21 時間	3 時間	245 時間
平成23年度	25 件数	26 時間	4:03 時間	1 時間	6 時間	62 時間	125 時間	39 時間	4 時間	4 時間	4 時間	3 時間	4 時間	241 時間
平成24年度	25 件数	24 時間	18:31 時間	0:52 時間	11 時間	61 時間	162 時間	39 時間	16:10 時間	5:08 時間	5:23 時間	5:23 時間	3:31 時間	250:26 時間
平成25年度	29 件数	23 時間	13:12 時間	13:28 時間	12 時間	73 時間	158 時間	33 時間	11:11 時間	1:40 時間	7:41 時間	5 時間	4 時間	277 時間
平成26年度	15:24 時間	19:33 時間	13:12 時間	13:28 時間	13:28 時間	61:37 時間	184:16 時間	21:18 時間	11:11 時間	1:40 時間	5:54 時間	4:05 時間	4:05 時間	290:01 時間

※年間の飛行時間は300時間が限度であるが、航空検査を年度中に実施しているため、年度合計は300時間を超える場合がある

第6章 衛星車載局の運用体制

1 収 容
福井県消防学校内

2 運用組織図



3 運 用

非常時の運用

災害発生もしくは発生する恐れがあるときに、災害の予防、被災後の救助および復旧などの災害対策等に必要な情報の収集・伝達を行う。

平常時の運用

業務、事業、イベント等の紹介を行う。

非常時および平常時とも映像情報の伝送を可能としていることにより、より詳細な状況の把握、広報等が可能である。

4 主な仕様

<アンテナ装置>

反射鏡部	オフセットパラボラ	有効開口径	1.8m
駆動部	電動/手動		
衛星捕捉	GPS等各種センサーおよび送受信装置受信偏波特性比較機による完全自動衛星捕捉が可能		

<送受信装置>

画像系電力増幅部	飽和最大出力	300W以上 (TWT)
個別通信系電力増幅部	飽和最大出力	40W以上 (SSPA)

<端局装置>

実装チャンネル数	個別最大通信回線用	4CH
	一斉指令用	1CH
	デジタル画像送信用	1CH
	デジタル画像受信用	1CH
	デジタル画像(準動画)用	1CH
デジタル画像変復調部	動画：6Mbps	
	準動画：64kbps/384kbps切替可能	

<一斉指令装置>

一斉指令	衛星系端末局向けに音声・FAXによる発令可能
種 別	全対象局一斉、全市町村一斉、全消防一斉、地域/区分指定、個別局指定

<その他端末装置>

全県移動車載型無線装置	260MHz デジタル通信 複信方式
第二全県移動車載型無線装置	150MHz 複信方式(または半複信方式)
衛星自動車電話	衛星携帯・自動車電話対応
簡易画像伝送装置	50GHz 帯回線構成での画像伝送